

第4回日吉津小学校運営協議会設置推進委員会会議要旨

と き 令和2年11月19日(木)
午後7時30分～8時45分
ところ 日吉津小学校子ども図書館
「まなびルーム」

日 程

1. 開 会 午後7時30分から

- ・司会進行：横田課長
- ・出席者：井田博之（教育長）、山根直樹（社会教育委員）
井藤健志（地域代表）、三宅拓磨（PTA会長）
村上春菜（PTA副会長）、田辺昌宏（地域代表）
立脇賢二、兼本修二、石 敬子（学校支援ボランティア）
山路由紀子（保育所長）、矢倉美和子（小学校長）
河本里美（小学校教頭）、長谷徳子（地域コーディネーター）
横田威開（教育委員会事務局）

- ・欠席者：林順一（学校支援ボランティア）

2. あいさつ

- ・山根委員長

本日はお忙しところお集まりいただきましてありがとうございました。

今回は、「めざす子どもの姿」について話し合っ様々意見がでました。自分たち大人もしっかりしないといけないなと思いました。

本日は活発な意見を出していただいて今後の活動に生かしていければと思います。よろしくお願ひします。

3. 議 題

(1) 「めざす子どもの姿」の設定と確認について

- ・3つのグループに分けて話し合っ→グループごとに発表
 - 1グループ：山根直樹、村上春菜、立脇賢二、山路由紀子
 - 2グループ：井藤健志、兼本修二、河本里美、長谷徳子
 - 3グループ：三宅拓磨、田辺昌宏、石 敬子、矢倉美和子

1 グループ

あいさつ

自分が好き

日吉津が好き

人が好き

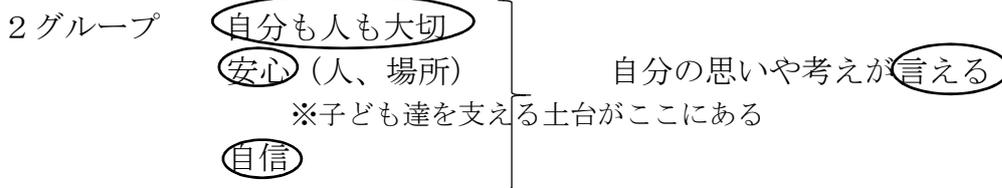
好き

↓

地域活動参画

↑

親子で



3 グループ 自分の思いや考えが言える→ほめる
 経験—自信—挑戦
 あたりまえの事を

・「めざす子どもの姿」のキーワードとなるような言葉としてあいさつ、好き（自分が好き、日吉津が好き、人が好き）、自分も人も大切、安心、自信、言えるなどが出てきた。今後の学校経営に生かす方法も考えて、来年度につなげていけたらと思います。

・めざす子どもの姿ということを出しあったが、逆の発想をして「こういう子どもはだめだよ」というような話し合いをすると、めざす子どもの姿というのが浮き出てくるのではないかと思います。どういう子どもがだめなのか。今日、話し合うということではないが、どこかで話し合ったらどうかと感じた。

・子どもの時にはだめなような子どもでも大人になるととてもしっかりした大人になっている。逆に子どものときはいい子で、大人になると悪いことをするなど。なぜそうなるのか。その原因はどこにあるのか。そのあたりも考えた方がいいのではないか。教育の場では。

・今はマルかバツかで話す機会が多くて、そうならないためにはという視点で話し合いをあまりしない。かえって見えてくるものがあるかもしれない。そういう視点も大事なのかなと感じました。

(2) リーフレット (第1号) について

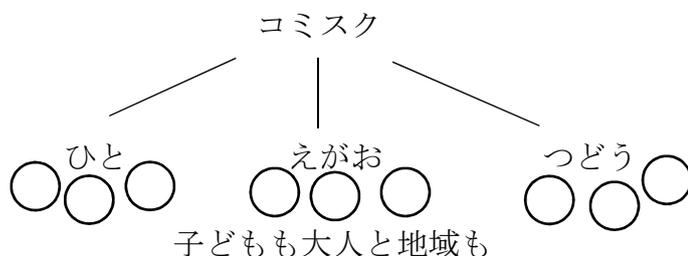
・経験が大切ということでは、いろいろなボランティアの方々が日吉津小学校に入って活動しているのは、なかなか他ではまねできないところだと感じています。リーフレットでは子ども達を育てていく。この運営協議会での活動ももちろんですが、子ども達が経験している様々な活動もリーフレットの中には盛り込んでいきたい。日吉津の子ども達を育てるには、地域みんなに関わってやっているんですよ。もしかするとそこで新たな後継者が生まれたりするのではないかと感じたりしています。そういった発信もこのリーフレットでできればと思います。今年度は、いろいろな意見をいただいて案を作っておいて、作成するのは来年度を予定しています。活動内容が伝わるようなアイデアをいただきたいと思います。日吉津ならこういうふうにならうとか。学校運営協議会として正式になった場合の情報発信として、地域のみなさんへのアピールとして作成しようと考えています。

・このリーフレットは、誰に向けて出すのか。村外に向けて出すのか。村内の大人

に向けて出すのか、子どもに向けて出すのか。

・今考えているのは村内全戸に配布をする予定です。村内のみなさんに活動の様子を知ってもらい、自分にもできるなど参加してもらえればうれしいなど感じています。

例えば：



(3) その他

①「日吉津村コミ・スクだより」No.2 について

・9月29日行った日吉津村熟議「めざす子どもの姿」についての様子をまとめたもので、保護者と教職員に配布しました。

②視察研修について

○委員研修：参加予定者 7名

日 時 令和2年11月16日(月) 午前10時50分～午後3時30分

場 所 米子市淀江文化センター(さなめホール)

※11月11日に東部地区に鳥取県版新型コロナウイルス警報が発令されたことに鑑み、研修が取り止めとなった。(後日、事例発表・公開相談会の様子を記録したDVDを配布する等での研修会に変更される)

・視察先に考えていた鳥取市立湖南学園の取り組みを聞くことができるこの研修を委員研修とすることとしていましたが、研修が取り止めになりました。

後日、事例発表等の様子を記録したDVDが配布予定であり、次回時間の余裕があれば、このDVDを見ることができたらと思います。

○役員研修：参加予定 委員長、副委員長、教育長、教育課長、小学校長

地域コーディネーター 計6名 (公用車使用1泊2日)

場 所 高知県(予定)

※無理のないように受入先と調整

・役員研修については、現時点では高知県ということで予定をしていますが、新型コロナウイルス感染症の感染が拡大する中では難しい状況だと感じています。無理のないように計画していきたいと思っています。

③第5回委員会の予定について

- ・今年度最後の委員会を3月に開催する予定です。

来年度から学校運営協議会を設置するというので、コミスク本格スタートだということをみなさんにお伝えしています。今は、設置推進委員会ということで準備段階ですが、3月に校長先生から来年度の学校の方針をお聞きして設置推進委員会として承認をし、来年度スタートできるように予定しています。

来年度は学校運営協議会を本格的にスタートということになります。PTA会長、副会長さんのようにかわる可能性がある担当もありますが、できることであれば、この大切なスタートをお集まりのみなさんには、残っていただけるとうれいなどと思っております。来年度については、お一人お一人聞かせていただきますので、よろしく願います。

第5回委員会については、近づいてから日程調整させていただきます。

4. 閉 会

井田教育長あいさつ

・矢倉校長が今年度に退職ということで、コミュニティ・スクールを立ち上げたときに後任の校長先生が来られるということになってきます。矢倉校長先生を中心に来年度の学校経営方針を3月の内におおよそ立てていただいて、その学校経営方針をみなさんが「よしこれでいけばいいね」と承認していただいて、承認したものを後任校長に伝えようと思います。こうして来年度コミュニティ・スクールをスタートしたいと考えておりますので、引き続き協力いただくと大変喜びます。来年度に向けて頑張りたいと思いますのでよろしく願います。

午後8時45分